

平成 30 年度 第 1 回 にいがた交通戦略推進会議 質疑概要一覧

<これまでの経緯について>

発言骨子	要旨	回答
地域公共交通網形成計画	<p>○全国的に取り組みの具体性に欠けている地域公共交通網形成計画が多い中、新潟市は具体性まで考慮しようとしていることから期待している。</p> <p>○地域公共交通網形成計画には、具体的な取り組みの前段に、基本的な方針を記載いただくことを改めて認識いただきたい。</p>	<p>○ご指摘を十分加味した上で作成したいと考えているほか、市民へのわかりやすさの観点からも作成を進める。</p>

<今年度の進め方について>

発言骨子	要旨	回答
実施計画期間	<p>○実施計画を4年と6年計画に分ける理由はなにか。</p> <p>○短期・中期的な施策展開を意識したものなのか。</p>	<p>○本市の最上位計画であるにいがた未来ビジョンの終了年次に合わせた計画期間としている。</p>

<基本計画のとりまとめ（案）について>

発言骨子	要旨	回答
具体的な取り組み内容	<p>○施策照会の内容は、ハード的な施策に限定されるのか。</p> <p>○タクシーでいえば、定額運賃制度などソフト的なサービスにも力を入れている。</p>	<p>○施策照会は、ハードだけでなくソフト的な取り組みも含めたものであり、事務局でとりまとめた後、次回以降の推進協議会で説明し、構成員と協議しながら、具体的な取り組みを決定させていただきたい。</p> <p>○取り組み同士を複合的に連携させて新たな取り組みも検討する。</p>
具体的な取り組み内容	<p>○多様な観点から具体的な取り組みを検討する必要がある中、施策照会の回答において観光要素の取り組みがない状況であれば、事務局から積極的に検討していくべきである。</p>	<p>○個別に照会を図るなどで対応していく。</p>

<にいがた交通戦略推進会議の構成員の追加について>

発言骨子	要旨	回答
構成員追加	○国、県における観光部局の職員も追加しなくてよいのか。	○提案する構成員は、観光に関する民間経験が長く、交流人口拡大の観点からも、適任であると考えている。